

一般質問発言通告書

発言順位 4番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和5年2月14日

三島市議会議長 川原 章寛 様

三島市議会議員 10番 河野 月江

質問事項1	三島駅南口東街区再開発事業の進捗等について
具体的内容	今議会上程の補正予算案に、繰越明許費の補正として、市街地再開発事業費補助金＝約2億7千6百万円が組合において事業全体のスケジュールに変更が生じたとの理由で計上されている。市ホームページでの説明資料の公開等によって曲りなりにも進捗状況の市民説明が行われた昨年6月から、すでに8ヶ月が経過している。これまで行った一般質問や答弁も踏まえ、現時点での事業の進捗状況や現状、懸念事項への対応等について、市民に対し丁寧に明らかにすることを求め、以下同う。
	1 昨年内に権利変換計画縦覧にこぎつけられなかった理由及び事業全体のスケジュールに変更が生じた理由と、組合が新たに引くスケジュールについて
	2 権利変換計画作成における現在の状況について
	3 この間市が組合から市有地の権利変換資産額が示されていたら、その額について
	4 令和4年度に実施を予定していた事業効果調査の状況と今後の見通しについて
質問事項2	市内公立中学校における生理用品の女子トイレ個室への設置を小学校でも
具体的内容	生理の貧困問題が注目される中、当市では昨年度、市民団体や保護者の要望を背景にした一般質問なども通じて、昨年秋より市内公立中学校において、女子トイレ個室への生理用品の設置が始まった。「これまで言い出しにくかった生理の問題で、学校生活を過ごす上で安心の環境づくりが進んだ。」との声が、保護者はもとより当事者である生徒からも寄せられている。一方、「小学校（高学年）でも設置できないのか。」との声も聞かれる。中学校に続き、小学校でも設置していくことを求め、以下同う。
	1 中学校での実施状況、利用状況はどうか。
	2 設置による効果と課題は何か。
	3 中学校のみでの実施となっている理由について
	4 安心の環境づくりには、小学校（高学年）でも設置が必要ではないか。
質問事項3	当市におけるグリーフケアの取り組みの充実について
具体的内容	身近な人との死別の経験による喪失と立ち直りの思いとの間で揺れ動き不安定な状態となり、身体上にも経験する不愉快な反応・違和感をグリーフと言い、このような状態にある人にさりげなく寄り添い、援助することをグリーフケアと言う。厚生労働省もこの間、グリーフケアに関する自治体説明会の開催や手引書の提示などを行ってきている中、令和3年5月31日には自治体あてに、「流産や死産を経験した女性等への心理社会的支援等について」を発出している。当市におけるグリーフケアの取り組みの充実を求め、今回は流産や死産を経験した女性と、自死遺族へのグリーフケアの取り組みに絞って、以下同う。
	1 出産における流産及び死産の件数について
	2 グリーフケアに係る取り組みの現状について
	3 ピアサポーター等の養成や支援団体との連携について
	4 自死遺族へのグリーフケアの取り組みの現状について
	5 自殺という用語の使用について